

災害に備え、命を守ろう

地震などの災害の発生を予測することは困難ですが、日ごろの備えや、いざというときの適切な行動で、被害を最小限に抑えることができます。

家族や地域などで避難方法を話し合うなど、一人一人が防災意識を高め、災害に備えましょう。

防災情報などを届ける戸別受信機



防災意識を高めよう

自らの命は自ら守る「自助」の考えの下、災害が発生したときに的確な行動が取れるよう、日ごろから防災意識を高めておきましょう。

また自分たちのまちは自分たちで守るという「共助」の意識を共有し、地区や自治会など地域の住民同士で普段からコミュニケーションを図り、いざというときには助け合いましょう。

防災行政無線の戸別受信機

各世帯に配布してある戸別受信機には、停電対応用として単

1電池をセットしてあります。

戸別受信機から電池の容量がなくなった合図(放送終了後の音声による案内や、ボリュームの左にある電源ランプの赤色と緑色の点滅)があった場合は、アルカリの単1電池に交換し、右側面にある黒色の電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れて使用してください。

受信状況が悪く聞こえない場合は、アンテナを最大に伸ばし、設置場所を変更して再度電源を入れ直して確認してください。それでも聞こえない場合は問い合わせてください。

家具の転倒防止対策を

建物が無事でも家具の転倒などにより、命を落としたり大けがをしたりします。また逃げ道をふさがれて避難が遅れてしまう場合もあります。被害を軽減するため、家具や大型家電の転倒防止対策を進めましょう。

●安全空間を確保する。

- 正しい設置・使用を行う。
- 転倒防止器具などで固定する。
- 収納物の飛散を防止する。

帰宅が困難でも落ち着いて

職場や学校、外出先など自宅

から離れた場所にいるときに大きな災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。災害が発生したら、まず身の安全を確保するとともに、落ち着いて交通情報や被害情報などを確認し、適切な行動を心掛けましょう。

問い合わせ先

総務課地域安全班

☎ 62・5311

知っておきたい防災情報

避難情報の種類

避難準備情報／避難準備を呼び掛けるとともに、災害時要援護者に早めの避難行動を求めるものです。自主避難する人のために一部の避難所を開設します。

避難勧告／被害が予想される地域の住民に、避難を勧めるものです。市が指定した避難場所への避難を開始してください。

避難指示／避難勧告よりも強く避難を求めるものです。急を要する場合、人的被害が出る危険性が非常に高まった場合に発表します。ただちに避難行動を開始してください。逃げるいとまがない場合は、近くの安全な場所(津波は高台、土砂災害は自宅の2階)へ。

旭市防災マップ

市内全域の避難場所、災害への備えなどの情報を掲載しています。区を通じて各戸に配布したほか、市役所本庁と各支所で配布しています。スマートフォン版では、位置情報なども確認できます。

※津波に特化した「旭市津波ハザードマップ」もあります。